

「第 12 回アラブ人学生歓迎プログラム ASP2013」

環境情報学部 3 年 ハディ ハーニ

1. 内容

「アラブ人学生歓迎プログラム(以下 ASP)」は、アラブ諸国で日本語を学ぶ学生を約 2 週間 SFC に招聘し、研究会の活動の一環として、SFC でアラビア語を学ぶ学生たちと日本語レポート作成や日本語ビデオスキット映像の制作などを通じて行い、アラブ・イスラーム圏との学术交流プログラムである。

具体的な活動内容としては、日本語による個別の研究レポートの作成や日本語ビデオスキット映像の制作のほか、神奈川県立中央農業高等学校との交流活動、アラビア語によるディスカッションや授業、着付けや茶道をはじめとする日本文化体験、東京・鎌倉・富士山への小旅行などが行われた。「作りながら学び、学びながら作る」というコンセプトのもと、実践的な活動の展開が、単なる相互理解にとどまらず、自分たち自身の変化への努力を通じて、互いに共有できるものを探究する契機となり、日本とアラブ、さらにはアラブ人同士の良い関係を作るプログラムとなることを目指している。

また昨年度から新たな試みとして開始された、アラブ世界全域を対象とするインターネット募集を本年度も継続して実施し、モロッコから一人の学生が招聘された。



「現代文化探究」における日本語レポート最終発表会後の集合写真



着付けを体験するアラブ人学生

2. 目的

本プログラムの目的は、将来にわたって日本とアラブ世界との関係を国益や私益を超えて友好的に発展させることのできる人物の育成と、大学における学术交流のモデル構築である。

アラブ・イスラーム世界との信頼と友好に基づく良好な関係構築は、日本のみならず国際社会全体においても重要な課題となっている。本プログラムは、2002 年の第 1 回開催以来、新しい時代の日本とアラブ・イスラーム世界との関係のみならず、アラブ人同士の関係をも構築するプログラムとして、継続的に展開されている。

3. 2013 年度統一テーマ「^{ルーフ}魂 ～世界を繋ぐ、平和を紡ぐ～」

本年度は「^{ルーフ}魂 ～世界を繋ぐ、平和を紡ぐ～」を全体の統一テーマとした。

日本人学生とアラブ人学生たちが、ASP における活動を経て、宗教や価値観の違いを超えた「魂」の繋がりを築くことを目指す。繋がった魂は、これまでよりおおきな視点で物事を見極めることを可能にする。そうした繋がりをもつことで、現在、民主化運動に混乱するアラブの平和、ひいては世界の平和への可能性を紡ぎだすことを、期間を通して考えるために、実行委員一同によって選ばれた統一テーマである。

4. ASP2013 の概要

日時:2013 年 11 月 3 日(日)～11 月 17 日(日)

場所:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)

参加者:・招聘者:エジプト人学生 1 名、モロッコ人学生 2 名、レバノン人学生 1 名(計 4 名)

・実行委員:奥田敦研究会に所属する学生約 30 名

5. 期間中の主なプログラム内容

11月5日(火)	アラビヤ語ディスカッション 日本語学習者である招聘者と、アラビヤ語学習者である日本人学生が、本年度統一テーマの「ルーフの繋がりを実現するためにはどうすればよいか」というテーマについて、アラビヤ語を用いてグループディスカッションを行い、両者の言語を用いて結果報告をした。
11月7日(木)	アラビヤ語インテンシブ1の授業に参加 SFCで行われているアラビヤ語インテンシブ1の授業に招聘者が参加し、アラビヤ語を学んで半年ほどの日本人学生と交流し、アラビヤ語学習のサポートをした。
11月7日(木)	神奈川県立中央農業高等学校訪問・交流 奥田敦研究会 OB の一人が勤務している神奈川県立中央農業高等学校を訪問し、餅つき体験や、高校生による和太鼓演奏の鑑賞とその体験を通じて、招聘者が日本文化に親しめる場を作ると同時に、日本の高校生と交流する契機とした。
11月8日(金) 14:45～	プレゼンテーション「アラブ人の語るアラブ世界」 奥田敦教授の講義『現代文化探究』の中で、招聘者が各自の故郷とその魅力などについて日本語でプレゼンテーションを行った。本講義の受講者(約130名)との質疑応答の場も設けられた。
11月8日(金) 16:30～	家庭訪問 日本人学生の家族との交流や、一人暮らしの大学生の部屋の訪問を通じて、日本の大学生の暮らしの雰囲気を体感する機会を設けた。
11月11日(月) 11:10～	着付け体験 外部の先生をお招きし、招聘者が浴衣と着物の着付け体験をした。
11月11日(月) 14:45～	茶道体験 茶道経験者の実行委員主導で、招聘者が茶道の体験をした。
11月15日(金)	日本語レポート最終発表会 招聘者と実行委員が協力して作成した日本語レポートの最終発表会を、奥田敦教授の講義『現代文化探究』の中で行った。各招聘者の問題関心のもとに、専門家へのインタビュー調査や日本人学生とのディスカッションなど、2週間の様々な体験を踏まえて完成させたレポートを、招聘者が本講義の受講者(約130名)の前で発表した。

※週末は鎌倉旅行、東京旅行、富士旅行へ出かけた。また、上記のプログラム以外は日本人学生とアラブ人学生が協働し、日本語によるレポート作成に計100時間ほど取り組んだり、日本語学習者の副教材を目指したスキットビデオの撮影を行ったりした。

ASP2013の成果の一部は、11月22、23日に東京ミッドタウンで開催される慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスオープンリサーチフォーラム(ORF2013)にて展示公開された。

6. 予算の執行

本活動の招聘者1名の航空券代として、湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」からの助成による予算を執行する。

7. 参考資料

・本プログラムの活動が掲載されたWebサイト一覧:

・SFC CLIP (<http://sfclip.net/news2013110102>)

・「アラブ人学生歓迎プログラム ASP2013」公式webサイト(<http://nafidha.sfc.keio.ac.jp/webASP/2013/>)

なお、本プログラムの詳細に関する活動報告書を現在作成中である。

8. 謝辞

本プログラム実施に際し、ご協力いただきました全ての皆さまに心より感謝いたします。なお、本プログラムの予算は2013年度湘南藤沢学会シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金、その他の研究助成、寄付や学園祭での収益などから執行されました。